



会社業務も会計税務も熟知した公認会計士が教える

経理以外の
社員のための

会社がわかる最低限の簿記と財務分析

決算書を読み解き、数字に基づいて考えられるようになる。

研修目的

- (1) 簿記の基本を知り、決算書を読み解けるようになる
- (2) 決算書を分析して自社やライバル社の状況を把握できるようになる
- (3) 会計的思考を身につけ、数字に基づいて意思決定を行えるようになる

日時 平成29年**10月18日(水)**
9:30~16:30

講師 伊藤弥生公認会計士・税理士事務所 代表
伊藤 弥生氏

会場 京都商工会議所(京都市中京区烏丸通夷川上ル)
※京都市営地下鉄丸丸線「丸太町」駅南6番出口直結



同志社大学大学院経済学研究科在院中に公認会計士2次試験(現公認会計士試験)合格。監査法人勤務、公認会計士試験受験予備校講師を経て独立。財務諸表論、簿記の講師として2,000回以上の講義経験をもち、実務経験を踏まえたわかりやすい講義に定評がある。また、親しみやすく質問のしやすい雰囲気にも人気がある。

受講料 京都商工会議所会員 **17,280円**
※消費税込 一般 **25,920円**

1. 決算書って何だろう? 貸借対照表と損益計算書を 中心に

- (1) 貸借対照表で財産の状態を知る
- (2) 損益計算書は事業の通信簿

2. 決算書を読み解くための簿記入門 【演習】

- (1) 最低限押さえておくべき「簿記の5要素」
- (2) 仕訳の仕組みを理解する

3. 決算書の読み解き方

- (1) 貸借対照表・損益計算書のチェックポイント
- (2) 収益性分析の基本

(3) 安全性分析の基本

4. 損益分岐点技法を使いこなす 【演習】

- (1) 最低限守るべき売上、目標利益を達成する売上を計算する
- (2) 不況に対する耐性を知る

5. 投資の意思決定を行う 【演習】

- (1) 経営の判断材料を揃えるには?
- (2) 回収期間と投資の利回りを理解する

電卓をお持ち下さい

お申込み・お問合せ／京都商工会議所 会員部 人材開発センター (〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル)

FAXまたはwebサイトからお申込み下さい。

- ▶ FAX: 075-222-2612 TEL: 075-212-6446
- e-mail: jinzai@kyo.or.jp
- ▶ 京商ビジネススクール で **検索** (URL: <http://www.kyo.or.jp/jinzai/>)

お申込み後、速やかに下記口座までお振込み下さい。

- 振込手数料はご負担頂きますようお願い致します。
- ▶ 京都銀行 本店営業部 (普) No.5017759
- 口座名: 京都商工会議所 研修口

※開催日の約1週間前に受講証をお送りします。なお、申込人数が少ない場合には開催を取りやめる事があります。

※開催日の5営業日前を過ぎてからの受講取消については受講料の返金を致しかねますので、ご了承下さい。ただし、代理出席は可能です。その際はお早めにご連絡下さい。

H29年10月18日 060 『経理以外の社員のための会社がわかる最低限の簿記と財務分析』 申込書

会社名	事業内容	TEL	
		FAX	
所在地		受講料	円 × 名分
		振込日	月 日
申込責任者	所属(役職)名	請求書(○印) → メールにて送付致します。 e-mail	
		要・不要	
受講者名(フリガナ)	所属部署名(役職名)	e-mail	年齢

本申込書にご記入いただいた個人情報は、本講座の実施・運営のために利用するほか、京都商工会議所に関する各種情報提供の目的にのみ使用致します。

★人材開発センターではオーダーメイド研修の実施、講師派遣も行っております。お気軽にお問合せ下さい★